



毎日晴れ渡る青空の下、伸び伸びと過ごしている子どもたちです。夏ならではの、体験を取り入れながら、今月もたくさん楽しむことができました。

まだまだ暑い日が続くので、しっかりと休息をとりながら、体の変化に気を付けつつ、暑い夏を元気に過ごしていきたいと思います。



お盆休み明けに子どもたちは、夏の思い出を夢中で話してくれました。花火をしたことや、おじいちゃん・おばあちゃんのお家に行ったこと、水族館に行ったことなど、目をキラキラさせながら嬉しそうに話す子どもたちの表情がとても可愛かったです。そして、会話も更に上達をされていて、1つ1つ言葉を考えながら繋ぎ合わせて話す姿に驚きました。お話を聞いてほしい気持ちが重なってしまうこともよくあるのですが、保育教諭が「順番に聞くね」と伝えると、順番を待ちながらお友達の話も聞いて「〇〇も行ったことあるよ！」と会話に対して共感を楽しむこともできるようになり、みんなで話の輪を広げることもできるようになってきました。



うさぎ組では、挨拶を大切にしながら毎日過ごしています。「おはよう」「ありがとう」など日頃よく使う挨拶を自然と言うことができるようになってほしいという思いから、保育教諭から積極的に言っていました。最近では午睡後、子どもたちから「おはよう！」と挨拶をしてくれたり、牛乳のコップを机に置くと「ありがとう！」と伝えてくれたりと、子どもたちから自然と言うことができるようになってきました。また、1人の子が言うと、周りの子も、自ら挨拶ができる子が増えてきてとても嬉しく思います。

トマトの収穫をしました。毎日大きくなったか成長を見届けながら育ててきたトマトが赤くなり、たくさん収穫することができました。「赤くなってるー！」とトマトの変化を身近に感じ、不思議そうに見つめる子や、見たことのある赤いトマトになり、「これが知っているトマト」という表情で喜び子もいました。収穫をすると、潰れないように大切に持ちながら、給食室までウキウキで持っていきました。給食にうさぎ組が育てたトマトが提供されると、「これ、うさぎさんが作ったトマト？」と嬉しそうに頬張る姿が見られました。夏野菜の栽培を通して、食物への興味関心が高まり、育てる楽しさを感じることができました。また、次は冬野菜の栽培があり、子どもたちの栽培活動にも変化が見られてくると思うので、楽しみです。

・エピソード・

自由遊びをしていた時の1コマです。

Aちゃんが、自分の席でパズルをしたかったのですが、Aちゃんの席のところに立ち、違う玩具で遊んでいたBくんがいました。

Aちゃん「どーけーて」

Bくん（遊びに夢中で気が付きません）

Aちゃん「Bくん、どーけーて」

それでも気が付かないBくん。

すると、Bくんと一緒に遊んでいたCくんが、「Bくん、もうちょっとそっち行ってあげて」と優しく教えてあげると、Bくんもようやく気が付き、移動してくれました。Aちゃんは、「ありがとう」と感謝を伝え、解決することができました。

トラブルに繋がりそうな場面でも、友達同士で自然と解決ができるようになってきました。今までは、保育教諭に解決を求めていることが多かったのですが、子どもたち同士が言葉で伝え合いながら仲良く遊ぶ姿に成長を感じました。



11日（木）うさぎ組祖父母参観

19日（金）身体測定

30日（火）お誕生会

